

尾張旭市

OWARIASAHI CITY

未来へ咲く
ひまわり

Sunflowers blooming
into the future

尾張旭市制50周年記念市勢要覧
Owariasahi City 50th Anniversary Commemorative Handbook

未来へ咲くひまわりで 満たされたまち

City with many sunflowers blooming into the future

「健康都市 尾張旭」では市民が健康になることでまちが健康になり、健康なまちに育まれて市民がより一層健康になる。そんな素敵な循環が生まれています。市の花「ひまわり」はまちの輝く未来と豊かな生命力を象徴しています。



市長あいさつ

尾張旭市は、昭和45年12月に県下27番目の市として誕生し、50年の節目を迎えました。緑豊かな自然に恵まれた尾張旭市は、この50年の間、名古屋市に隣接する住宅都市として発展し、市制施行当時3万4千人余りでありました人口も、今や8万4千人を超えました。これもひとえに先人のまちづくりへのたゆまぬ努力と市民のみなさまの温かいご理解のおかげと深く感謝しております。

この節目の年を迎えられたことを誇りに思い、さらなる飛躍の年と位置づけ、これからも着実に発展し続けられるよう、「こどもは宝」「健康は宝」「幸せづくりは宝」を基本姿勢として、尾張旭らしさを追求したオンリーワンのまちづくりのため、次の50年に向けて、種まきをしていきたいと考えています。そして、まちづくりの種が育ち、いずれ大きな花が咲く、まちづくりの循環が働くように今後も全力で市政運営に取り組んでまいります。

また、本誌の発行にあたり、尾

CONTENTS

02 未来へ咲くひまわりで
満たされたまち

04 Gallery
写真で見るOWARIASAH!



あさひの花

- 06 進化し続ける「健康都市」
- 08 緑がつながるまちづくり
- 10 紅茶でまちをもっと元気に
- 12 尾張旭ブランド
- 14 みんなが安心して暮らせるまちへ
- 16 地域ぐるみで子育てを
- 18 吉永選手の活躍で、まちが元気に
- 20 輝く人・まち



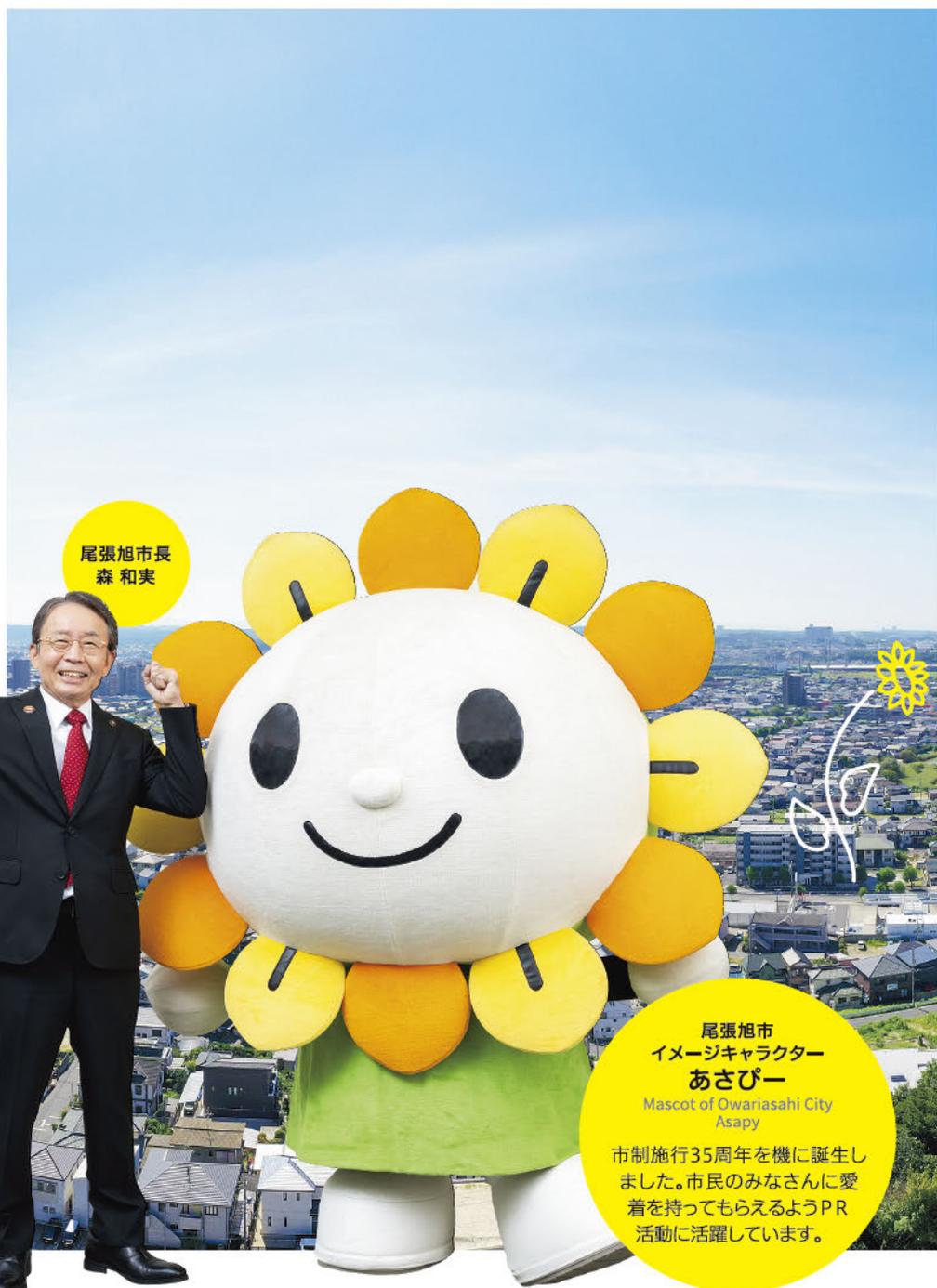
あさひの種

- 22 先人から学ぶ未来へのチカラ
- 24 次代へ繋ぐ^{わざ}術と舞
- 28 令和最初の全国植樹祭
- 30 市制50年のあゆみ



あさひの芽

- 34 尾張旭市第五次総合計画
- 38 尾張旭市イラストマップ



尾張旭市長
森 和実

尾張旭市
イメージキャラクター
あさびー
Mascot of Owariasahi City
Asapy

市制施行35周年を機に誕生しました。市民のみなさんに愛着を持ってもらえるようPR活動に活躍しています。

Message from the Mayor

Established as the 27th city in Aichi Prefecture, Owariasahi City celebrates its 50th anniversary this year. I am proud that the city will mark this milestone year, and I will continue to sow the seeds for the next 50 years so that our city will steadily develop. I strive to do my best in order to continue to develop the community like seeds that sprout and that then produce big blossoms in time. I would be grateful if this handbook helps more people learn of the attractions of Owariasahi City, and I would appreciate your cooperation in the promotion of community development.

Kazumi Mori, Mayor of Owariasahi City

尾張旭市長 森和実

張旭の今の姿を後世に伝えていきたいとの思いで、多くの市民のみなさんにも登場していただきました。冊子を通じて、本市の魅力をより多くのかたに知っていただくとともに、まちづくりの推進に、ご協力をいただければ幸いです。

憩いの場となっている維摩池

Imaike, the site for relaxation and refreshment



360°
VR



Gallery

写真で見る OWARIASAH

See in photo Owariasahi



鉄道とのコントラストが美しい田んぼアート

Rice paddy art contrasts wonderfully with the trains



秋に赤く色づくどうだん亭

Doudantei surrounded by red autumn leaves



緑豊かな森林公園

Lush greenery of Forest Park



秋の風物詩 コスモスと旭城

Typical scenery: Cosmos flowers and Asahi Castle



子どもたちの声でにぎわう城山公園

Shiroyama Park filled with the voices of children



貴重な湿地植物が生息する吉賀池湿地

Yoshigaike Swamp,
where valuable marsh plants live



あたたかな光が彩る駅前イルミネーション

Warm color illuminations in front of the station



まちの魅力・情報・特産品を
紹介している尾張旭まち案内

Owariasahi Information Center where attractions,
information, and specialties of the city are introduced



360°
VR



まちのシンボル スカイワードあさひ

Symbol of the City: Skyward Asahi



健康都市とは？ What is a Healthy City?

世界保健機関(WHO)が提唱する理念で、健康を個人の責任としてのみ捉えるのではなく、都市そのものの健康を通して市民の健康をめざす都市を指します。



あさぴーと学ぶ！

進化し続ける 「健康都市」

Let's learn with Asapy.
A Healthy City that continues to evolve

「健康都市 尾張旭」のあゆみ

History of Healthy City in Owariasahi

健康都市連合の
しほり

本市の取り組み

【8月】
日本支部の支部長に
就任(任期2年)



【7月】
日本支部
第3回総会・大会を
尾張旭市で開催

【4月】
健康都市連合
日本支部設立総会

【6月】
WHO西太平洋地域
健康都市連合への加盟承認
【10月】
健康都市連合
設立総会・会議

平成21年

平成20年

平成19年

平成18年

平成17年

平成16年

平成20年に
市営バス
「あさぴー号」が
本格運行開始！

はその年に
受賞した表彰の数
を表してるよ！



【4月】
「第1回あさひ健康フェスタ」
を開催
【12月】
「健康都市プログラム」を策定

【8月】
「健康都市宣言大会」を開催
「健康都市 尾張旭」を宣言
「健康の日」(4月29日)を制定

健康都市の取り組み

Initiatives as Healthy City

あさぴー号の運行

Running Owariasahi city bus service

市民同士のふれあいを促進し、市内のどこに住んでいても快適に、不自由なくまちを移動できる環境づくりを推進している市営バスは、健康づくりのまちづくりに一役かっています。



健康都市連合の活動

Activities of the Alliance for Healthy Cities

2年に1度国際大会が開催され、西太平洋地域の都市や研究者による情報の共有、優れた取り組みに対する表彰が行われます。本市では、健康都市の取り組みを積極的に紹介し、国際的な交流を行っています。



あさひ健康マイスター

Asahi Health Meister

健康づくり事業に積極的に参加した市民を表彰する制度で、10年連続達成または5年連続達成の受賞者にはメダルが授与されます。



令和元年
健康都市連合
国際フォーラム

「健康都市尾張旭」を 世界に発信

尾張旭市では「健康は市民すべての共通の願いである」という考えに基づき、平成15年から「健康づくりのまちづくり」を市の最重要施策の一つに位置づけています。平成16年には健康都市連合の設立メンバーとして加盟の承認を経て、健康都市宣言を行い、人もまちも元気にする「健康都市」の実現に向けて、さまざまな施策に取り組みできました。その成果として「健康都市尾張旭」は本市を象徴するブランドの一つになり、市民の間にも定着しました。取り組みに対する国内外からの評価も高く、健康都市のさらなる充実をめざして、意欲的な取り組みを進めています。

**SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS**

健康都市の取り組みはSDGs
目標達成につながります。

SDGsを
テーマに平成30年、
令和3年に連続して
受賞!

【8月】
日本支部を代表して
健康都市連合の
「理事」に就任(任期5年)

実践的な防災訓練
で健康都市連合から
表彰されたんだ

令和3年



令和2年



平成30年



平成28年



平成26年



平成24年



平成22年



「第9回健康寿命を
のばそう!アワード」
(生活習慣病予防分野)で
「スポーツ庁長官
優秀賞」を受賞!

これまでの
取り組みから
「エキスパート賞」を
受賞!

【3月】
「健康都市
プログラム」を改定

【3月】
「尾張旭の健康都市づくり
~これまでの取り組みのまとめ~」
を公表

Disseminating Healthy City Owariasahi to the world

Based on the belief that good health is the common aspiration of all citizens, Owariasahi City positions *community development for the promotion of good health* as one of its most significant municipal policies. In 2004, the city declared the Charter for a Healthy City, and it has proceeded with a variety of efforts. Today, *Healthy City Owariasahi* has become one of the brands that represent our city.

らくらく筋トレ体操

Rakuraku (easy)muscular training

手首や足首におもりを巻いて、腕や脚を上げて行う筋力トレーニング。市内66グループ、約1,600人(令和3年3月現在)の人が参加しています。



あさひ健康フェスタ

Asahi Health Festa

「健康まつり」「あさびースマイルウォーキング」など健康にちなんだ多彩な催しを通じて市民が「健康都市 尾張旭」を体感できるイベントです。

城山公園

Shiroyama Park

野球場などの運動施設やスカイワードあさひなどの文化施設、散策路が整備された総合公園で、園内北側に広がる長池は親水空間として親しまれています。



健康の源泉

緑がつながる まちづくり

Source of good health

Community development to extend greenery

緑あふれる公園都市
自然とふれあい健康増進

尾張旭市は、豊かな自然に恵まれた公園都市です。まち全体が身近に自然とつながれる環境で、緑に包まれた暮らしがあります。整備された公園や緑地は、市民が気軽に自然とふれあえる拠点になっています。また、市が進める健康都市づくりにも重要な役割を果たしています。四季の移り変わりを感じながら公園の散策路をウォーキングしたり、健康遊具で体を動かしたり、多くの市民が自然の中で楽しみながら健康増進を図っています。

Park City filled with greenery Health improvement from getting in touch with nature

Owariasahi City is a Park City blessed with an abundance of nature. Well maintained parks and green areas serve as hubs where residents can comfortably get in touch with nature. Residents also enjoy walking in parks and nature areas. As such, they play an important role in the development of the Healthy City the administration is promoting.

Areas with water and greenery are the source of good health.

Owariasahi City has abundant nature, which has been protected through the efforts of our predecessors. Nature is the source of good health for residents, and to make better use of nature, Owariasahi City further promotes maintenance of Forest Park, which represents the nature and greenery of Owariasahi, as well as the reservoirs, rivers, and Yoshigaik Swamp where you can observe valuable marsh plants.

尾張旭市には、先人の努力によって守られ、受け継がれてきた自然がたくさんあります。北部丘陵地一帯に広がる森林公園は尾張旭の自然と緑を象徴するスポットです。ため池が多いのも特徴で、矢田川などの河川とともに貴重な水辺空間として市民生活に潤いをもたらしています。さらに貴重な湿地植物を見ることができ、吉賀池湿地もあります。市民の心と体の健康の源泉になっている尾張旭の自然をより一層生かすため、整備が進められています。

水と緑のスポットは市民の健康の源泉



維摩池 Imaike

四季折々の眺めが美しいため池で芝生広場や健康遊具が併設されています。池周辺には市制40周年を記念して約500本のハナモモが植樹されました。

360°
VR



愛知県森林公園 Aichi Forest Park

市北部の丘陵に約538haの敷地が広がる県立公園です。森林浴の森100選に選ばれていて利用者は年間100万人を超えます。



吉賀池湿地 Yoshigaik Swamp

東海地方特有の湧水湿地でシラタマホシクサやミカワシオガマなどの貴重な植物が生育しています。年に6回、一般公開されています。



矢田川 Yada River

市を東西に流れる一級河川で、河川緑地は野鳥や草花、昆虫など豊かな自然にふれあえる水辺空間です。



あさひの花



「おいしい紅茶の店」
認定店舗数
日本一に認定!



夜景茶会
Tea party with night view



国産紅茶グランプリ
Japanese Black Tea Grand Prix

みんなで日本一達成!

紅茶でまちを
もっと元気に

Achieved the best in Japan by working together!
Invigorate the city more with black tea.

「おいしい紅茶のまち 尾張旭」の未来像

Future vision of Owariasahi, the city of
good black tea

紅茶でまちの魅力を発信

尾張旭市は、全国にその名が知られる紅茶のまちです。平成23年11月1日に、日本紅茶協会がおいしい紅茶が飲める店として認定した「おいしい紅茶の店」の人口一人当たりの店舗数が日本一多い市として初めて認定されました。平成25年からは「おいしい紅茶の店」の美店舗数で3年連続日本一になりました。紅茶のまちづくりは、現在、尾張旭市観光協会が中心となって取り組み、「日本一紅茶のおいしいまち」をPRしています。これからは、紅茶に関する取り組みを通じて、市内外へ尾張旭市の魅力を発信していきます。

Strengthening the attractions of the city with black tea

Owariasahi City is well known nationwide for its black tea. For three consecutive years since 2013, the city became known as the best in Japan for the number of good teashops authorized by the Japan Tea Association. We will continue to spread the charms of Owariasahi City through our promotion of black tea.



あさひいろ
尾張旭の新メニュー商品開発プロジェクト「旭色」
Asahi-iro, the menu project to develop Owariasahi's new dishes

紅茶と尾張旭市産のいちじくを活用して、市内の飲食店が新商品やメニュー開発を行うプロジェクトです。



紅茶フェスティバル
Black tea festival

紅茶バザール、紅茶シンポジウムなど紅茶をテーマにした催しを通じて紅茶と尾張旭の魅力を伝えるイベントです。



INTERVIEW

PROFILE

おいしい紅茶の店 チャンピオンシップ

ほった のぶゆき
初代チャンピオン 堀田信幸さん

First Championship as a Good Tea Shop
Nobuyuki Hotta

市内にある紅茶専門店「TEAS Liyn-an(ティーズリンアン)」の店主。データに基づいた独自の理論でおいしい紅茶を追究するこだわりの人。



おいしい紅茶でまちおこしに貢献
日本紅茶協会主催の「おいしい紅茶の店チャンピオンシップ」に参加したのは、紅茶関係者として尾張旭市の活性化に貢献したいと思ったからです。おいしい紅茶のまちの代表として出場し、優勝という目標を達成できて良かったです。多くの人に尾張旭市を知ってもらえるよう、「紅茶のまち尾張旭」をアピールしたことで、当地商品を高速道路のサービスエリアなどで販売するのでもいいですね。私自身も紅茶に携わる一人として、もっとまちおこしに貢献できるよう頑張りたいです。

全国へ発信中!

尾張旭ブランド

Disseminating throughout Japan
Owariasahi brand

あさひの花

「不老不死の果実」と呼ばれるいちじくは栄養満点。消化の促進や糖尿病予防などに効果があります。

口いっぱい広がる甘さは一度食べたら忘れられません。採れたていちじくのジャムも大人気です!

PROFILE

いちじく農家「谷口農園」

たにくちのぶひろ

はすだ みほ

谷口亘弘さん 蓮田美保さん

Taniguchi Farm by a fig farmer

Nobuhiro Taniguchi Miho Hasuda

農園で尾張旭市の特産品「朝採り完熟いちじく」を栽培。直売所では赤、白、黒の3種類の朝採り完熟いちじくや加工品を販売しています。



朝採り完熟いちじく

Fully ripe figs harvested in the morning

「完熟」にこだわり、食べごろの朝に収穫したもので、甘みが強く、芳醇な香りが特徴です。ジャムには「完熟」のおいしさをギュッと詰めこみました。



Recommended specialties with a lineup of superb products from Owariasahi

Owariasahi City is blessed with appealing local resources. Fully ripe figs harvested in the morning and black tea are especially outstanding among the resources, and a number of fascinating products are produced from those two. The municipal commercial and industrial association disseminate them by certifying products appropriate as the city's specialties as recommended products.

国産紅茶飴

Japanese black tea candies

国産紅茶グランプリ2年連続優勝の無農薬茶葉をはじめ、材料は全て国産品を使用しています。



豊かな自然環境と歴史・文化、さらには消費需要が旺盛な大都市近郊という地の利にも恵まれて、尾張旭市には、魅力的な地域資源があります。その代表が朝採り完熟いちじくと紅茶で、これらを活用した商品が数多く生み出されています。尾張旭市商工会では産業・観光事業の育成を目的として、尾張旭市の魅力や素材が活かされた商品の特産推奨品に認定しています。

尾張旭の逸品がそろった特産推奨品

特産推奨品

Recommended specialties

尾張旭市商工会の厳正な審査を経て認定された商品で「推奨品」シールが目印です。



あさひ銘菓いちっこ

Ichikko-Asahi's renowned confectionery

トッピングに尾張旭特産の朝採り完熟いちじくの甘露煮、中にいちじくのクリームをサンドした風味豊かな焼き菓子です。



いちじく畑

Ichijiku-batake (Japanese-style confectionery)

朝採りいちじくをその日のうちにジャムに加工し、わらび餅で包んだ新感覚の和菓子です。



いちじくパウンドケーキ

Pound cake with figs

1年を通して楽しめるよう、甘露煮に加工したいちじくをふんだんに使っています。しっとりとした生地にいちじくの食感の良いアクセントです。



特産推奨品も売っています！



尾張旭まち案内

Owariasahi Information Center

尾張旭市の情報発信拠点。観光情報などの発信や市PRグッズ・特産推奨品などの展示・販売をしています。



OwariAsahi 4tea8

OwariAsahi 4 tea 8

「おいしい紅茶のまち尾張旭」の紅茶として独自にブレンドした4種類の紅茶で、リーフとティーバッグの計8商品があります。

あさぴーと学ぶ！
救命ボランティアのしくみ

1. 傷病者発生



心肺停止の傷病者が発生したら周囲にいる人は直ちに119番通報します。

2. 「救助指令」発信



通報を受信した消防指令センターは、アプリを通じて救助指令を送信します。

3. 「救助指令」受信



救命ボランティアは配信された救助指令をスマートフォンのアプリで受信します。

4. AED施設が表示



応答するとアプリ画面に心肺停止発生現場と付近のAED 設置施設が表示されます。

5. AEDを取りに急行



AEDを取りに行き、現場までアプリ画面のナビゲーションに従って急行します。

6. 現場で応急手当



心肺停止の傷病者にAEDを使用するなど救急隊が来るまで応急手当を行います。

7. 救急車到着



消防指令センターが通報受信後すぐに手配した救急隊が傷病者を病院に搬送します。

市内全コンビニエンスストアにAEDを設置

AEDs installed at all convenience stores within the city

市内全てのコンビニエンスストアに設置されている他、一部公共施設に屋外設置するなどいつでも誰でもAEDが利用できる環境を整えています。



まちの健康を守る

みんなが 安心して 暮らせるまちへ



Protecting the health of citizens ourselves
To the city where everyone can live in peace





消防団

Volunteer Fire Department

6つの分団で組織され、火災の消火活動から各種訓練、地域での防火防災の啓発活動など尾張旭の消防を支えています。

INTERVIEW

地域の安全・安心を守る！

近年、全国各地で災害が多くなり、被災地で消防団員が活動しているニュースを目にする機会が増え、災害を身近に感じて生活するようになりました。春と秋の火災予防週間と年末には、消防車に乗り、市内を巡視しながら防火広報を行っています。コロナ禍となった今は、感染拡大防止に関する広報なども実施しています。地元を災害から守り、人の命を守ることを第一に、日々訓練と消防活動に取り組んでいます。



PROFILE

消防団
いわはし ひろき
岩橋広紀さん

Volunteer Fire Department
Hiroki Iwahashi

元消防団長だった親族の姿を見て育ち、幼少期から消防団に興味があり入団しました。



地域消防防災施設 ほんまる
Honmaru, the local disaster prevention facility



各分団に消防ポンプ車を配備
Fire engine equipped at each subgroup

市民の支えあいで
消防・救急体制を充実

尾張旭市では、市民が互いの命を守りあう安全・安心なまちづくりを進めています。高齢化にともなう救急需要の増加に対応するため、市内全てのコンビニエンスストアにAEDが設置されるなど、いつでも誰でもAEDが使える環境が整っています。地域に根差す消防団には性別・年齢を問わない幅広い層の市民が参加し、仕事や家庭、学業と両立しながら防災活動に取り組んでいます。

Enhancing the system for firefighting and emergency through the mutual support of citizens

Owariasahi City promotes the building of a safe, secure community where residents protect each other. AEDs are installed at all convenience stores within the city, and lifesaving volunteers are actively engaged. Moreover, citizens in a wide age range volunteer to help at the fire department to work on disaster prevention activities.

婦人消防クラブ

Women's Fire Club

市内6つの地区で組織され、初期消火活動や応急処置の訓練、防火啓発活動に取り組んでいます。



少年少女消防団

Boys and Girls Fire Club

市内の小学5年生から高校生までが在団し、防災訓練などの活動を通じて命や暮らしを守る大切さを学んでいます。





たくさんの出会いが
未来を育む

地域ぐるみで 子育てを

Many opportunities to meet people
nurture the future.
Raise children with whole community
involvement

城山公園の遊具広場

Common space with play equipment at Shiroyama Park

城山公園の遊具広場は
乳幼児と児童の
ゾーンに分かれ
ていて、子ども
たちは年齢に
合った遊具を
安全・安心に
楽しめます。



尾張旭市の子育て関連施設でよく利用しているのは児童館です。児童館には年齢別のひろばがあるので、子どもが0歳のころからお世話になっています。同じ年齢の子どもたちと一緒に遊べる機会は貴重で、子どももとても楽しみにしています。同じ時期に子育てをしているお父さんお母さんと交流ができるのも児童館の良いところです。第一子のときは分からないことが多く、ママ友と情報交換をしたり、先輩ママからアドバイスを受けられたりしたのでとても心強かったです。

児童館で子育て仲間づくり

INTERVIEW

PROFILE

うみの ひろゆき
海野博之さんご家族
The Hiroyuki Umino family

仲良し4人家族。2人のお子さんの育児に市の子育て支援施設やサービスを上手に活用し、夫婦で子育てを楽しんでいます。



親子で遊びながら他の親子との交流や子育ての相談ができますよ。



子育て支援センター

Child rearing support center

市内に7カ所あり、子育てサロンや子育て相談、子育て講座など乳幼児を持つ家族の子育てをサポートするさまざまな事業を行っています。

中学生フェスティバル

Festival for junior high school students

市内の中学生が集まり、歌やダンス、楽器演奏など得意のパフォーマンスを舞台上で披露します。



教えてもらったメニューを試食できたのでわかりやすかったです。



図書館

Library

図書サービスの他、おはなし会や図書館連携による健康支援事業などを行っています。読み聞かせができる「おはなしのへや」もあります。



星の広場

Square for stargazing

県内有数の大きさ誇る天体望遠鏡と太陽専用望遠鏡を備えた天体観測室で定期的に観望会を行っています。



パパママ教室

Childbirth Class

妊婦さんと家族が健康管理や出産・育児準備について学べる講座です。

離乳食教室

Baby Food Class

管理栄養士の講義と実演で離乳食について学べます。離乳食教室で実際に作られたメニューはレシピ動画が公開されています。



Making parenting friends at the Children's Center

We have used the Children's Center since our children were infants because they can play with other children of the same age in open spaces that can be used by age. We also like the center because we can communicate with other parents. Courses on childcare, such as Childbirth Class and Baby Food Class, were very helpful to us. We feel secure because we can use the childcare consultation service provided by its experts. Owariasahi City offers a comprehensive support service for childcare. So, if you actively use the service, you can make parenting friends around your age. You will not feel lonely and anxious.

充実した子育て講座
子育てに関する講座もよく利用しました。「パパママ教室」はパパの妊婦体験や沐浴指導など夫婦そろって学べ、「離乳食教室」は実際に試食ができたのがとても良かったです。子育てについて専門家に相談したときは子育て支援センターはもちろん、児童館でも子育ての相談ができるので安心です。尾張旭市は子育てサービスが充実していて積極的に利用すれば同じ年ごろの子育て仲間ができるので、一人で不安になることはありませんよ。



吉永選手の活躍で、まちが元気に

スピードスケーター

吉永一貴

Speed skater
Kazuki Yoshinaga

吉永選手に聞きました!

Had an interview to Yoshinaga!

自分の力を信じて

尾張旭市で生まれ育ち、広大な芝生広場がある小幡緑地(東園)は昔も今もトレーニングで利用しています。昔は走るのが遅かったので、飼っていた犬のリードを引きながら一緒に走っていました。今は登坂練習やジョギングで利用しますが、緑が豊かでのびのびと練習できますね。練習中に出会う子どもたちや市民の方から「がんばってください!」「練習すごいですね!」などと声をかけていただき、とても励みになります。2021年に愛知県で開催された冬季国体では、3種目制覇することができました。地元の人々の声援が多い中で勝てたことは、大きな自信につながったと思います。今目標にしているのは、やはり北京オリンピックです。コロナ禍にあり、国際大会が中止になるなど影響もあります。今はただひたすら練習の毎日。自分を見つめ直しながら持っている力を出し切り、自分の力を信じて北京オリンピックの金メダルに挑みます。



市内での平昌2018冬季大会パブリックビューイング



市役所に設置された等身大パネル



次のオリンピックに向けて猛特訓中



Believing in himself

I was born and raised in Owariasahi City. When I was a child, I used to run with my pet dog in the East Park of Obata Green Park. I still run there as a workout. My experience of winning three events at the National Sports Festival Winter Games held in Aichi Prefecture with the encouragement of the local people helped me gain great confidence in myself. Currently, I am entirely devoted to practice for the 2022 Winter Olympics in Beijing, which is my goal. I will challenge for the gold medal, believing in myself.

スピードスケーター よしなが かずき 吉永一貴さん

平成11年(1999)7月31日、尾張旭市に生まれる。2018年平昌オリンピック男子代表。2018年W杯カルガリー大会男子1500m優勝。2021年国体冬季大会全3種目優勝。





12月



未来につなぐ財産

輝く人・まち

Fortune linked to the future
Shining people, shining city

2月

生涯学習フェスティバル Lifelong learning festival

市内各施設で作品展示や舞台発表、
体験学習会などが行われます。

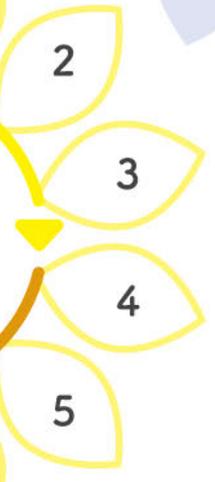


4月



城山公園さくらまつり Siroyama park cherry blossom festival

期間中、夜間はライトアップされ、週末
にはイベントなどが開催されます。





農業まつり

Agricultural festival

市内の農家が生産した農産物の展示・品評会や即売会、植木の無料配布などが行われます。



11月

11月

市制50周年記念 令和3年度 尾張旭市民文化祭
第18回 尾張旭市民音楽祭



市民文化祭

City cultural festival

市民展、市民芸能発表会、市民音楽祭が開催される市最大の文化芸術の祭典です。

あさひ冬フェスタ

Asahi winter festa

市内各所でイルミネーションをはじめ、魅力的な催しが繰り広げられる尾張旭の冬の風物詩です。



10月

市民祭

City festival

ライブイベント、食の広場、伝統芸能の上演など多彩なイベントで盛り上がります。



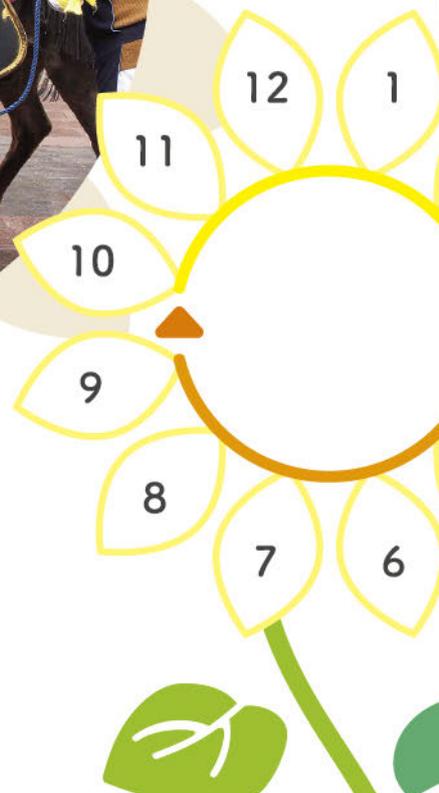
8月



たのしい夏まつり

Exciting summer festival

大盆踊り大会や和太鼓演奏などのステージ、模擬店など多彩なイベントで盛り上がります。



あさひの種



みずのまたたろうよしはる
水野又太郎良春

水野又太郎良春は南北朝時代の人で、吉野(奈良県・金峰山寺の僧兵団の将として南朝方について戦いました。康安元年(1361年)には尾張旭に移り住み、田畑を開墾して新居村(現在の新居町等)を開きました。菩提寺の退養寺の裏山には良春とその一族の墓と伝えられる宝篋印塔と五輪塔があります。

今につながる種

Seeds connected to the present

良春が新居村の人々に教えたと伝えられる棒術は、良春の異名「無二」の名を冠した棒の手「無二流(むにりゅう)」として尾張旭市の棒の手の流派の一つになっています。

Mizuno Matataro Yoshiharu

Mizuno, who lived in the South and North Courts period, commanded a group of warrior monks in support of the South Court. He cleared the fields and established Arai Village (current Araicho).

歴史が
新たな歴史を
生む

先人から学ぶ

未来へのチカラ



めんじょうしゅうすけいえてる
毛受勝助家照

稲葉村(現在の尾張旭市稲葉町等)出身の毛受勝助家照は、12歳のころより戦国武将の柴田勝家に小姓として仕え、長島の戦いで敵に奪われた勝家の馬印を取り戻すなど戦功をあげたと伝えられています。天正11年(1583年)、賤ヶ岳の戦いでは退却する勝家の身代わりとして馬印を掲げて奮戦し、戦死を遂げました。

今につながる種

Seeds connected to the present

家照の子孫は江戸時代には尾張徳川家に仕え、稲葉町に伝わる棒の手「検藤流(けんとうりゅう)」は家照の子孫が教えた棒術が起源と伝えられています。

Menjo Shosuke Ieteru

Menjo was born in Inaba Village (the current Inabacho, Owariasahi City). He fought bravely and distinguished himself in many different battles and was killed in the Battle of Shizugatake, while fighting courageously as a substitute for his master Shibata Katsue who was retreating.

History produces a new history.
Power for the Future that
We Learn from Predecessors



古代

Ancient times

弥生時代に最初の「ムラ」が誕生

尾張旭市では古代の遺跡や古墳が数多く発見されています。矢田川南岸には弥生時代から奈良時代にかけての集落遺跡と古墳群が分布しています。市内の遺跡の中で最も年代の古い長坂遺跡からは弥生時代の竪穴住居や土器が出土し、そのころから「ムラ」があり、人が暮らしていたことを伝えています。復元されている印場大塚古墳や白山一号墳などの古墳群はこの地を支配した権力者の存在を物語っています。印場地区では、古代の土地区画制度である条里制の名残とも考えられる地割も確認されています。



印場大塚古墳



木造聖観世音菩薩立像

The first village was formed in the Yayoi period.

Many ancient ruins and burial mounds are found in Owariasahi City. At the Nagasaka Ruins, the oldest of all ancient sites in the city, pit houses and earthenware from the Yayoi period were unearthed, which indicates the presence of villages in that period. In addition, a tumulus group tells us of the presence of a powerful person who ruled this area.

中世

Medieval era

小牧・長久手の戦いの舞台に

中世になると豪族たちによる支配が進み、各地に城が築かれました。城山公園にある新居城跡は市内で発見された城としては最大級です。戦国時代の天正12年(1584年)には、織田信長の後継者の地位を巡って豊臣秀吉と徳川家康が争った小牧・長久手の戦いの戦場の一つ、白山林の戦いの舞台になるなど戦国武將が足跡を残しました。市内で最も創建の古い良福寺りょうふくじには当時、尾張を支配していた織田信長の次男、織田信雄おだのぶかつが寺領を保証した書状(市指定文化財)が伝わっています。



織田信雄書状



土壘(新居城跡)

Turning into the scenes of the Battle of Komaki and Nagakute

In the medieval era, local ruling clans increased their dominance and built castles in different places. Arai-ato (Ruins of Arai Castle) in Shiroyama Park is one of the largest castles in the city. During the Warring States period, this area was the battleground for the Battle of Komaki and Nagakute, in which Toyotomi Hideyoshi and Tokugawa Ieyasu fought. As such, military commanders left their marks here.

近世

Early modern period

今に続くため池や街道

江戸時代に入ると現在の市域の原型となる印場村、新居村、稲葉村、狩宿村、瀬戸川村、井田村の六つの集落が発展していきました。新田開発が進み、農業の水源として多くのため池が造成され、今も残る維摩池や濁池などは、江戸時代の初期には完成し、周辺の田畑を潤していました。

名古屋と瀬戸、瀬戸と信州を古くから結んできた瀬戸街道や歴代の尾張藩主が利用した殿様街道などが通り、信州方面や瀬戸方面、名古屋城下からの物資や人が盛んに往来しました。



おいわけ
追分の石仏



瀬戸街道

Reservoirs and roads continuing to the present

When the Edo era began, six villages, which became the original model for the present city area, were formed. As new fields were developed, many reservoirs were created as sources of agricultural water. This busy area was a strategic location for transportation, since it became a transit point for the Seto Kaido road connecting Nagoya and Seto, as well as Seto and Shinshu, with the travel of many people and the transport of goods.

時代を超えて受け継がれる

次代へ繋ぐ

術わざと舞

Arts and dance connecting past and future generations

五流派が伝統を受け継ぐ

棒の手は、二〜五人の演技者が棒や木太刀などを使って型を演じる武術的な民俗芸能です。修験道の護身術や呪術として生まれた棒術を起源とし、五穀豊穡を祈願する神事芸能や農民が自衛するため

衆を楽しませる要素の強い型に分

かれていきます。尾張旭市の棒の手は昭和33年に県の無形文化財に指定、昭和51年に無形民俗文化財に再指定され、現在、無二流、検藤流、直心我流、東軍流、直師夢想東軍流の五つの流派が伝統を守っています。各流派は、毎年、多度神社をはじめゆかりの寺社に演技を奉納しています。

思いやりを育む棒の手

私たちが継承している無二流は、型や姿勢、所作の美しさが特徴で、武芸だけでなく儀礼的な要素を含み、厳かで迫力ある演技が魅力です。棒の手は一人では演技ができません。稽古を通じて、子どもたちの協力する心や思いやりを育てていきたいですね。

尾張旭市棒の手保存会
無二流 須崎 健さん

INTERVIEW



棒の手

Bo-no-te

伝統の衣装を着けた演技者が手にした棒や木太刀などを打ち合わせる勇壮な民俗芸能で、寺社に奉納されます。



INTERVIEW

Five schools inherited the tradition. Bo-no-te is a martial folk art of performing patterns with a wooden stick and a wooden sword. It was designated an intangible cultural property by Aichi Prefecture in 1958 and designated an intangible folk cultural property in 1976. Currently, the five schools of Muni-ryu, Kento-ryu, Jikishinga-ryu, Togun-ryu, and Jikishimuso-togun-ryu maintain the traditions. Each school dedicates a performance to the temple and shrine associated with it every year.

棒の手は楽しいです！

棒の手を通して、地域の人たちと一丸となって演技できることがとても楽しいです。稽古では、目線や表情など細かいところにも迫力が出るようにし、先生の演技に近くなれるように頑張っています。これからも地域に伝わる棒の手に関わっていきたいです。

尾張旭市棒の手保存会

すぎむら ゆづすけ もりはやと
無二流 杉村 友亮さん 森 駿斗さん



時代を超えて受け継がれる

次代へ繋ぐ わざ 術と舞



ざい踊りについての

Q&A

Q2

ざい踊りの曲目
けいせいあわ なるど
「傾城阿波の鳴門」とは？

巡礼お鶴が主人公の有名な物語で、ゆっくりとしたテンポの歌に合わせて一つ、二つ、三つ、と「ざい」を打ち合わせ、数を取りながら踊ります。

Q1

手に持っている棒は
どういう意味があるの？

竹筒に紅白に染めた紙房をつけた「ざい」と呼ばれる手具で、先祖が宿り、一緒に盆を供養する意味があるとされています。



尾張旭市ざい踊り保存会
みうら まさこ
三浦雅子さん

Zaiodori Preservation
Society of Owariasahi City
Masako Miura

そろった動きの美しさ
踊る楽しさを伝えたい

ざい踊りは紅白の房のついた「ざい」の動きがそろったときの美しさ
と、打ち合わせる竹の響きが魅力
です。子どもたちを指導するとき、
なによりも大切にしているのは踊
りの楽しさを伝えることです。全
員の「ざい」の角度や揺れ、動き、
音、足がそろったとき、人数が多
ければ多いほど気持ちの良い達成感
が得られ、友だちと一緒に踊れば、
より一層楽しい気持ちになります。
保存会には親子姉妹で参加する人
が多く、ざい踊りを通じて世代を
超えた交流が生まれています。

Magnificent synchronized movements I want to convey the fun of dancing.

Zaiodori fascinates you with the beauty of the synchronized movements of Zai, bamboo pipe with red and white strips attached to the end, and the beating sound of bamboos. When I teach dance to children, I convey the fun of dancing. The Preservation Society has many members who join together with their families and sisters. Communications are created there beyond the generations.

INTERVIEW

尾張旭市ざい踊り保存会
ひらのりほ
平野莉穂さん

Zaiodori Preservation
Society of Owariasahi City
Riho Hirano

友だちと高めあつて
もっと上手になりたい

ざい踊りを踊るのが大好きです。
ざいを落とさないようにするなど
気をつけることはたくさんありま
すが、友だちと一緒に踊ると楽し
いし、踊り終わったときは達成感
がすごくあります。お稽古のときは
どうすればもっと上手になれるか
をいつも考えています。一番意識し
ているのは動きのキレで、先生から
コツを教えてもらうと、「もっと上
手になれるんだな」と励みになり
ます。友だちと互いの踊りを見せあ
い、苦手なところを見つけて克服
できたときはとても嬉しいです。

I want to be a better dancer by raising the level of dance together with my friends

I love dancing Zaiodori. I have fun dancing with my friends, and when the dance finishes, I have a great sense of accomplishment. My friends and I show our own dances to each other. I am so happy when I find a bad part and then overcome it.



打ちはやし
Uchi-hayashi

太鼓や横笛で演奏されるお囃子で「道行ばやし」「祭ばやし」とも呼ばれ、地域の祭礼や盆踊りには欠かせません。



馬の塔
Uma-no-to

江戸時代から伝わる献馬行事で、標具(だし)という豪華な馬具で飾り立てた馬を寺社に奉納します。



植樹祭のレガシーを後世に

令和最初の 全国植樹祭

Legacy of tree-planting festivals down to future generations
The first national tree-planting festival in the Reiwa period



木製地球儀

Symbol of the national tree-planting festival: wooden globe

全国植樹祭のシンボルとして開催県に引き継がれています。尾張旭市でも平成31年4月10日から26日に市役所ロビーで展示しました。



苗木のスクールステイ

Young plants at school

森林や身近な緑の大切さ、緑づくりへの関心を高めるため、全国植樹祭で植樹するどんぐりの苗木を市内の小・中学校で育ててもらいました。

1年前
One year ago



全国植樹祭1年前イベント

Event held one year before the national tree-planting festival

カウントダウンボード除幕式やステージイベント、植樹イベントなど市民参加のさまざまな催しで植樹祭の開催機運を盛り上げました。

200日前
200 days ago

みどりとひかりの ハーモニー

Harmony with greenery and lights

市内にアトリエを構える光の切り絵作家 酒井敦美さんのオリジナル作品によるライトアップで、旭城一帯が幻想的な雰囲気になりました。



100日前
100 days ago

みんなの絵でつくる モザイクアート

Mosaic art created with everybody's picture

「わたしの好きな尾張旭」をテーマにした1,481人の市民の絵画作品を組み合わせ、看板が作成されました。



街灯フラッグ・ プランターの設置

Raising flags to the streetlight pole and installing planters

おもてなしの一つとして会場周辺に街灯フラッグと市民が作成した飾花プランターが設置されました。



Let's be together as one to pass the blessings of forests to the future.

The 70th National Tree-planting Festival was held in Aichi Prefecture Forest Park on June 2, 2019. A variety of associated events took place that generated excitement for the festival held in our hometown. Making use of that event as our legacy, we, all the residents, the administration, and related organizations together, are advancing the tree-planting campaign and the use of wood even now.

市民が心を一つにして
森の恵みを未来へ

令和元年6月2日、愛知県森林公園で、第70回全国植樹祭が開催されました。愛知県では40年ぶり2回目、さらには令和初という記念すべき年の開催ということでは植樹祭を盛り上げるため市民が一丸となって開催前からさまざまな関連行事に取り組みました。そして現在も植樹祭開催をまちのレガシー（社会的遺産）として受け継いでいくため、市民・行政・関連団体が一丸となって緑化活動や木材利用を進めています。



サテライト会場
Satellite venue

市内に設けられたサテライト会場1カ所、市内PR会場3カ所で式典行事が生中継され、多くの市民が観覧しました。



写真:愛知県提供

令和元年6月2日
June 2, 2019



写真:愛知県提供

天皇皇后両陛下が
スカイワードあさひをご訪問

メイン会場
Main venue

天皇皇后両陛下にご臨席を仰ぎ、お手植え・お手まきやおことばをいただきました。式典の冒頭では、市長が参加者1万人に対して、歓迎のあいさつをしました。

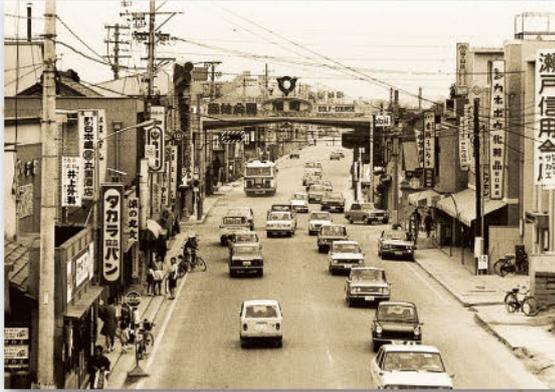


植樹の取り組み

Efforts for tree planting

全国植樹祭の開催理念を継承していくため、植樹や啓発イベントなどさまざまな取り組みが行われています。





昭和40年代 発展する市街地

成長の軌跡

市制50年の あゆみ

Path of Our Growth
Fifty-Year History of the Municipality

昭和61年	昭和60年	昭和59年	昭和58年	昭和57年	昭和56年	昭和55年	昭和54年	昭和53年	昭和52年	昭和49年	昭和47年	昭和46年	昭和45年	
4月	12月	11月	9月	8月	4月	2月	10月	8月	4月	9月	4月	7月	4月	
1月	11月	9月	8月	8月	2月	10月	8月	4月	11月	10月	4月	3月	12月	
● 愛知県森林公園が「森林浴の森百選」の一つに選ばれる	● 第1回市民ジョギング大会開催	● 二代目市長に朝見政富氏、下水処理施設「東部浄化センター」完成	● 移動図書館車「ひまわり号」の市内運行開始	● 中央公民館オープン	● 全国高校総体（フエンスィング）開催	● 旭ヶ丘テニスコート・キャンプ場オープン	● 身体障害者通所授産所「くすの木苑」開所	● 旭平和墓園完成	● 文化会館オープン	● 円空仏など3件を市文化財として初指定	● 図書館オープン	● 市民憲章制定、市の花に「ひまわり」を制定	● 市民プールオープン	● 保養センター「尾張あさひ苑」オープン
									● 野外趣味活動施設「城山レストハウス（旭城）」オープン	● 人口5万人を超える	● 第1回尾張旭まつり開催	● 勤労青少年ホームオープン、第1回城山公園さくらまつり開催	● 尾張旭市誕生（人口34,253人）、初代市長は松原定治氏、市の木に「くすのき」を制定	
									● 尾張旭音頭を発表、城山野球場オープン	● 城山公園にテニスコート・弓道場完成	● 総合体育館オープン	● 尾張旭市誌発刊	● 初の市議会議員選挙を実施	
									● 消防署設置（庁舎完成）	● ごみ焼却場「晴丘センター」完成				



昭和45年 市制施行当時の市役所



昭和40年代 当時の尾張旭駅前



平成16年 WHO健康都市連合への加盟承認



平成12年 シンボルロード全線開通

平成29年	平成28年	平成27年	平成26年	平成25年	平成24年	平成23年	平成22年	平成21年	平成20年	平成19年	平成18年	平成17年		
2月	7月	3月	4月	6月	11月	7月	5月	12月	3月	11月	4月	3月		
<ul style="list-style-type: none"> ● スカイワードあさひ星の広場オープン 	<ul style="list-style-type: none"> ● 第61回愛知県消防操法大会を本市で開催 	<ul style="list-style-type: none"> ● 「城山コミュニティセンター」オープン 	<ul style="list-style-type: none"> ● 「多世代交流館いきいき」オープン 	<ul style="list-style-type: none"> ● 「おいしい紅茶の店 店舗数日本一」に認定(市県) ● 「おもしろい紅茶の店 店舗数日本一」に認定(市県) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 少年少女消防団発足 	<ul style="list-style-type: none"> ● 軽度認知障がいチェックテスト「あたまの元気まる」開始 	<ul style="list-style-type: none"> ● 「瀬戸・尾張旭消防司令センター」運用開始 ● 4代目市長に水野義則氏 	<ul style="list-style-type: none"> ● 「おいしい紅茶の店 店舗数日本一(人口当たり)」に認定 ● 旭前駅前広場完成 	<ul style="list-style-type: none"> ● 市役所に市営バスロータリー完成 	<ul style="list-style-type: none"> ● 非核平和都市宣言 ● 新学校給食センター稼働 	<ul style="list-style-type: none"> ● 「あさひ安全安心メール」運用開始 	<ul style="list-style-type: none"> ● 尾張旭市長が健康都市連合日本支部長に就任(任期2年) ● 市役所で休日・夜間窓口を開始 ● 高齢者職業相談室が地域職業相談室にリニューアル ● どうだん亭が国の登録有形文化財に登録 	<ul style="list-style-type: none"> ● 「市営バスあさびー号」本格運行 ● 「新池交流館ふらっと」オープン ● 「瀬戸新居線(城山街道)全線開通 ● 健康都市連合日本支部第3回総会 大会を本市で開催 ● 人口8万人を超える ● 西部保育園分園を新設 民間運営を開始 ● 環境事業センター内に「リサイクル広場」を開設 	<ul style="list-style-type: none"> ● 愛・地球博が開催(長久手・瀬戸会場) ● WHO健康都市連合日本支部設立(本市も設立メンバーで加入、初めての「健康の日」に「第1回あさひ健康フェスタ」を開催



平成20年 「市営バスあさびー号」本格運行



平成17年 愛・地球博会場「尾張旭の日」開催



平成26年 「多世代交流館いきいき」オープン



平成23年
「おいしい紅茶の店 店舗数 日本一(人口当たり)」に認定



平成28年 愛知県消防操法大会を開催



平成31年 都市計画道路霞ヶ丘線開通



令和2年 市制50周年記念式典を開催



令和元年 第70回全国植樹祭が愛知県森林公園で開催

9月	令和3年 3月	12月	11月	令和2年 2月	令和元年 6月	4月	3月	平成31年 2月	5月	平成30年 4月	7月			
● 日動救急隊発足	● 「リサイクルひろばクルクル」移設オープン	● 地域消防防災施設「ほんまる」オープン	● 「新型コロナコールセンター」の開設	● 市制施行50周年記念式典を開催	● 「第9回健康寿命をのびそうアワード」の生活習慣病予防分野で「スポーツ庁長官優秀賞」を受賞	● 「文化会館」リニューアルオープン	● 第70回全国植樹祭が愛知県森林公園で開催	● 本市出身の女優、青木さやかさんに市制50周年PR大使を委嘱	● 「第9回健康寿命をのびそうアワード」の生活習慣病予防分野で「スポーツ庁長官優秀賞」を受賞	● 都市計画道路霞ヶ丘線開通	● 5代目市長に森和美氏	● 名鉄瀬戸線旭前駅リニューアル	● 情報発信拠点「尾張旭まち案内」オープン	● 初の女性消防団員誕生



尾張旭市 第五次総合計画

Fifth Comprehensive Plan in Owariasahi City

将来の都市像 Image of the city in the future

みんなで支えあう
緑と元気あふれる
住みよいまち 尾張旭

Owariasahi—a comfortable city to live in,
full of greenery and energy, and where
every resident supports each other



Aiming to achieve the future city image with eight pillars

The fifth comprehensive plan in Owariasahi City defines the image of the city in the future as "Owariasahi—a comfortable city to live in, full of greenery and energy, and where every resident supports each other." To achieve this future city image, we formulated a policy consisting of eight pillars that correspond to the issues identified through the current situation of the community.

尾張旭市第五次総合計画は、将来の都市像を「みんなで支えあう緑と元気あふれる住みよいまち尾張旭」と定めています。これは先人から受け継いだ豊かな緑や自然に加え、健康都市の取り組みという本市の貴重な財産を守り、活かし、次の世代に引き継ぐとともに、より多くの人に住みよいと感ぜてもらうためのまちづくりを進めようというものです。この将来の都市像を実現するためにまちの現状から抽出した課題に対応する8つの柱（政策）を立てています。

8つの柱で将来の都市像実現をめざす

政策の大綱

みんなで支えあう健康のまちづくり



らくらく筋トレ体操で健康に



誰もが不安なく子育てができる
まちづくりを推進

全ての市民が生涯いきいきと健康に暮らせるように健康増進事業に取り組むとともに、みんなで支えあう健康のまちづくりを進めています。

Development of a healthy community where everyone supports each other

We engage in health promotion services, and thus we are promoting the development of a healthy community where every resident can have a sense of security and support each other.

健康はかけがえのない財産。幸せに暮らすためには欠かせないよね。市民みんなの健康がまち全体の健康をつくるんだ！



豊かな心と知性を育むまちづくり



安全快適な教育環境を整備



市民体育大会の開催

まち全体で次代を担う人材の育成に努めています。また、生涯学習やスポーツの振興、郷土の伝統文化の継承・振興にも取り組んでいます。

Community development to foster emotional richness and intelligence

Everyone in the city strives to foster human resources who will lead the next generation. Moreover, we commit to the promotion of lifelong learning and sports, as well as the inheritance and promotion of traditional culture.

学びは心豊かな人生の土台になるもの。学校教育、生涯学習、いろんな学びが充実しているよ。



快適な生活を支えるまちづくり



衛生的なまちの推進



快適な住環境を整備

住環境の質の向上や幹線道路整備など交通ネットワークの充実に努めるとともに、道路や上下水道など都市基盤施設の維持管理にも取り組んでいます。

Development of a community that supports a comfortable life for all residents
We strive to improve the quality of the living environment, enhance the transportation network through the maintenance of highways, and maintain the urban infrastructure of roads and water and sewer services.

快適な暮らしを支えてくれる道路や公園、水道、下水道。安心して利用できるのが心強いね。



安全で安心なまちづくり



交通少年団の活動



総合防災訓練の実施

災害に強いまちづくりを進めるとともに、事故や犯罪などから市民の生命や財産を守り、安心して暮らせるまちづくりを進めています。

Safe and secured community development
By developing disaster resistant communities, as well as protecting the lives and property of residents from accidents and crime, we are promoting a community where residents can live with a sense of security.

安全・安心は、暮らしやすいまちの基本だよ。みんなで協力し災害に強いまちをつくらう！



環境と調和したまちづくり



緑のカーテンを実施



ごみゼロ運動の推進

市民・事業者・行政が一体となり資源循環型社会の実現をめざしています。また、緑と水辺環境の保全など環境と共生したまちづくりを進めています。

Community development in harmony with the environment
With residents, business operators, and the administration in unison, we promote the development of an environmentally friendly community and aim to achieve a recycling-based society.

住みやすさの鍵を握るのは環境。身近に緑や水辺があると心が安らぐね。地球にやさしい生活をみんなで心掛けよう。



活力あふれるまちづくり



商業の振興



特産品を栽培

商工業の活性化を図るとともに大都市近郊という立地を活かした農業の振興に取り組んでいます。また、勤労者支援・就労支援の充実に努めています。

Development of a vigorous community

Taking the initiative to promote agriculture, commerce, and industry, as well as support employees and job seekers, we aim to realize a local community where everyone can work with a sense of security.

豊かで元気なまちをつくるには産業の振興が欠かせないんだ。尾張旭ならではの魅力的な産業を応援していこう！



人と人がふれあうまちづくり



コミュニティ施設整備と利用増進



たのしい夏まつりの運営

市民活動の活性化やまちのにぎわい創出などの取り組みを進め、人と人がふれあい、愛着がより一層感じられるまちをめざしています。

Development of a community that enables interactions with others

We increase opportunities where residents can interact with others by revitalizing the city, and we strive to create a community that makes us feel more of an emotional attachment to it.

人と人のふれあいや交流が盛んなまちは自然に活気が生まれるよ。尾張旭市のことを大好きな人が増えてくれるといいな。



分野横断的なまちづくりと市政運営



市の魅力を発信



大学との連携

さまざまな行政課題の解決に向けて分野横断的な取り組みを進めています。また、市民・行政の信頼関係のもと、協働によるまちづくりをめざしています。

Development of interdisciplinary community and municipal administration

While promoting interdisciplinary initiatives to resolve administrative issues, we aim for the development of the community in cooperation with residents and the administration.

効率的で効果的な行財政運営は、まちの課題を解決するためにとっても大切なんだ。みんなでまちづくりに参加しよう！



市章
City emblem



昭和32年、町制10周年を記念し、旭町議会で制定され、市制施行後も引き続き、市章としています。旭のアの字が3つ丸く連なり、市民の団結と発展を示しています。

市の木 くすのき
Official city tree: Camphor tree



昭和45年、市制施行を記念して制定しました。

市の花 ひまわり
Official city flower: Sunflower



昭和55年、市制施行10周年を記念して制定しました。

尾張旭市イメージソング
「MY CITY—ふるさと—」
City's theme song: "My City"

平成2年、市制施行20周年に制作しました。

作詞:湯川れい子 作曲:平尾昌晃 歌:麻倉未稀

MY CITY SUNRISE
MY CITY SUNSHINE
MY CITY ALWAYS
SMILE IN MY HEART

夏の矢田川 ゆれてたひまわり
さえる樺の手 秋祭り
アルバムをめくるたび
笑顔に出会える あの日

春は城山 桜のトンネル
緑したたる 森林を
手をつなぎ 走ったね
幼い頃から ふたり

ふるさとは 悲しい時ほど
そっと腕を差しのべて
変わらない愛の眼差し
ありがとう 輝きに
包まれて生きてゆく この街で

ふるさとに 心寄せるほど
人は夢をつめ込んで
遠くまで旅立てるから
いつの日か また逢える
幸せが待っている この街で

MY CITY SUNRISE
MY CITY SUNSHINE
MY CITY ALWAYS
SMILE IN MY HEART

MY CITY SUNRISE
MY CITY SUNSHINE
MY CITY ALWAYS
SMILE IN MY HEART

MY CITY SUNRISE
MY CITY SUNSHINE
MY CITY ALWAYS
SMILE IN MY HEART





すくすくのびのび
尾張旭市

尾張旭市制50周年記念市勢要覧 未来へ咲くひまわり

発行：尾張旭市

編集：企画部広報広聴課

〒488-8666 愛知県尾張旭市東大道町原田2600番地1

TEL:0561-53-2111(代表)

<https://www.city.owariasahi.lg.jp/>

発行年月：令和4年1月

Published by: Owariasahi City
Edited by: Information Processing and Public Relations Section
2600-1 Harata, Higashidaido-cho, Owariasahi City, Aichi Prefecture 488-8666
Tel: +81-561-53-2111
<https://www.city.owariasahi.lg.jp/>
Publication date: Jan. 2022

UD
FONT

